

平成29年度
岩瀬曳山車祭
たてもん判じ絵

たてもん判じ絵

岩瀬曳山車の形態は、明治末頃までは一本の心柱（約17メートルの帆柱）にたてもんを飾り付けた曳山で、頂上に一万燈と御幣をつけて依代としていました。現在は高さ約4メートルのたてもんを地山車（約3メートル）の上に立てた曳山車です。このたてもんは木と竹を使った骨組みに布を張り、毎年新たに作られます。絵柄は、地・人の三段に分けて一つの意味にまとめ、組み合わせた判じ絵が描かれています。その判じ絵は、おもに時世の出来事について、慶祝を表すものや、祈念・祈願する内容です。その想いを各町が趣向を凝らした判じ絵としてたてもんは作られています。



永割

五町円満・鶴寿千歳



新町

国政改革 大いに期待せん



新川町

千秋楽



大町

大町多幸発展を大望す



浜町

漁業の大漁と繁栄を願う



荒木町

千秋楽



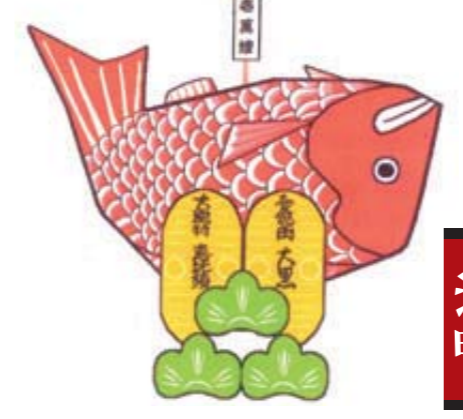
福来町

隆興なれ富山 繁華なれ岩瀬



白山町

両町内益々繁栄



浦町

大漁を待つ



財町

闘志満々行け朝乃山



赤田町

日本経済益々飛躍期待



祇園町

ますます花開きますように
色とりどりの岩瀬の宝



港町

笑門来福



岩瀬
曳山車祭

勇ましく、
奮い起つ、
港町「岩瀬」の
伝統と心意気

曳き合い
5月17日(水) 22時頃より
岩瀬諏訪神社前
5月18日(木) 22時頃より
忠霊塔前
※時間はその時々により変わります
お囃子競演
5月18日(木) 20時頃より
忠霊塔前



岩瀬曳山車実行委員会